

教育旅行レポート

「非日常」の場に身を置き、人とふれあい、見聞を広げ

多感な中学生にとって教育旅行(修学旅行)は学生時代の一大イベントだ。楽しみでもあり、また不安でもある。非日常の場に身を置き、その土地ならではのものに触れ、見て、人と接することで視野が広がることもある。ここでは充実した教育旅行(修学旅行)を実施する2校の取り組みを紹介する。

横浜市立共進中学校

奈良・京都 24年6月9～11日



曹田雄介教諭 横浜市南区に校舎を構える横浜市立共進中学校(西田真校長)は、1947年に創立。みどりから7年に創立。みどりから7年に創立。みどりから7年に創立。

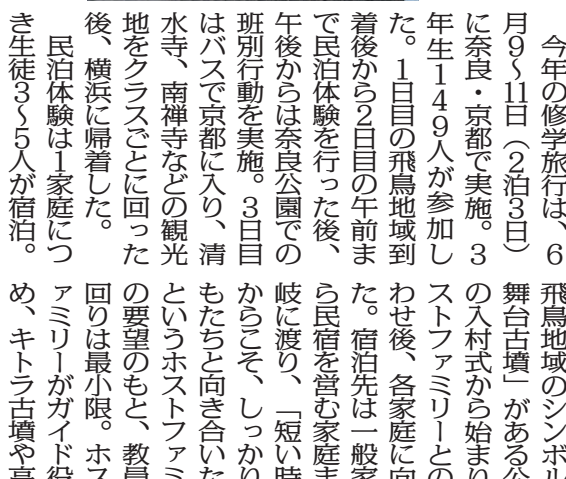


退村式後にホストファミリーと

修学旅行の目的は、「地域の伝統文化・暮らしを学ぶ、知見を広げる」という異文化体験にある。同校がある横浜は交通の利便性が高く、飲食・宿泊・観光施設が充実している。また、自然環境も豊かである。

異文化を学び、知見を広げる 奈良・飛鳥地域での民泊体験

今年度の修学旅行は、6月9日(2泊3日)の日程で実施。1日目は飛鳥地域の民泊体験を実施。2日目は奈良公園の観光。3日目は奈良の歴史を学ぶ。



ホストファミリー宅で食事準備

民泊体験は、家族や地域の人々と交流する貴重な機会。学生たちは、食卓を囲みながら、地域の生活や文化について学び、交流した。

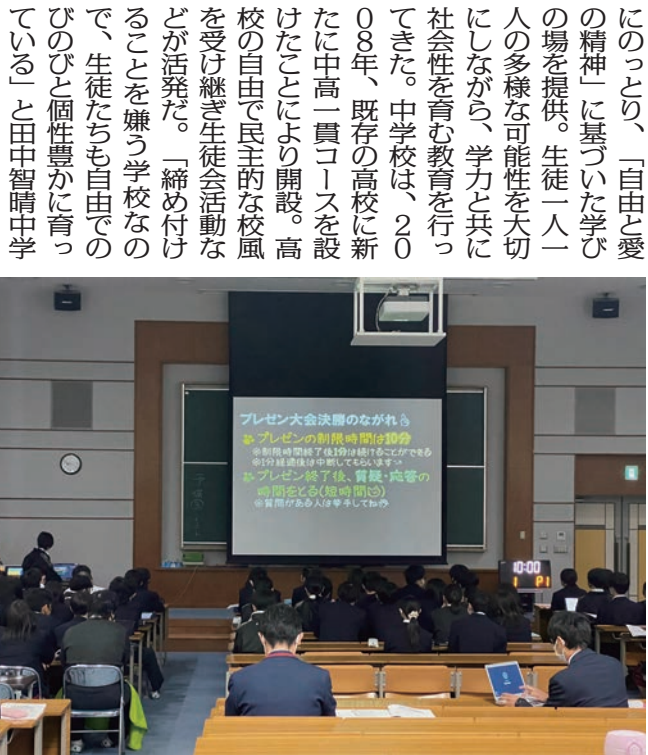
2日目の午後、3日目の奈良・京都の地を自分たちの足で回って各地域の理... 修学旅行の実施時期は、梅雨前か梅雨明け後が理想。梅雨明け後は、天候が安定し、観光にも適している。

桃山学院中学校高等学校

関東地方 23年10月29日～11月2日



田中智晴教頭 桃山学院中学校高等学校(大阪府、生田耕三校長)は、1888年(明治21年)、英国人宣教師らが創設した学校をルーツに持つ歴史ある学校だ。今もキリスト教精神のこころ、自由と愛の精神に基づいた学びの場を提挙。生徒一人一人の多様な可能性を大切にしながら、学力と共に社会性を育む教育を行ってきた。中学校は、2008年、既存の高校に新たに中高一貫コースを設けた。この一貫コースを設けたことで、生徒は高校の自由で民主的な校風を受け継ぎ、生徒会活動などが活発化。締め付けを緩め、学校生活の自由度を高め、生徒の個性を伸ばすことに注力している。田中智晴中学校教頭は語る。



プレゼン決勝大会

本校の特色の一つは、学祭や文化祭など、生徒が主体となって行う行事が多いこと。今年度は、10月29日(木)～11月2日(日)の4日間にわたって、本校の歴史や文化をテーマにしたプレゼン大会を開催した。生徒たちは、事前に準備したプレゼンテーションを、観客の前で発表し、審査を受けた。



宿泊したペンションで清掃の手伝いも行った

今年度の修学旅行は、6月9日(2泊3日)の日程で実施。1日目は飛鳥地域の民泊体験を実施。2日目は奈良公園の観光。3日目は奈良の歴史を学ぶ。

民泊体験は、家族や地域の人々と交流する貴重な機会。学生たちは、食卓を囲みながら、地域の生活や文化について学び、交流した。

生徒が一から作り選ぶ修学旅行 プラン作りは「究極の探究活動」

本校の特色の一つは、学祭や文化祭など、生徒が主体となって行う行事が多いこと。今年度は、10月29日(木)～11月2日(日)の4日間にわたって、本校の歴史や文化をテーマにしたプレゼン大会を開催した。生徒たちは、事前に準備したプレゼンテーションを、観客の前で発表し、審査を受けた。

自然体験 探究学習 周辺観光 小規模～大規模校まで様々な受入提案可能!! NAGANO 池の平ホテル 池の平白樺高原ホテル

雄大な自然に包まれて、心に響く感動体験を! 自然学習は長野県へ 長野県教育旅行のお問合せは 学習旅行ナビ 検索